

新型コロナウイルス感染症への対策ガイドライン
(佐渡自然共生科学センター 朱鷺・自然再生学研究施設)

新型コロナウイルスへの対策のため、学生の皆さんは新潟大学の新型コロナウイルス感染症対策(下記 URL)、および、本ガイドラインの記載事項を徹底するようにお願いします。

実習期間中は他の学生と共同生活となります。常に自分がウイルスの保有者であると仮定し、3密(密集・密閉・密接)を避けた行動を心がけましょう。特に、佐渡市は重症のコロナ感染患者に対応できる病床が4床しかなく、感染を拡大させないように来島前2週間以内の行動にも気をつけてください。

今後の状況や新潟県・佐渡市等からの要請次第では変更する可能性がありますので、**必ず最新版を確認**してください。

また、単位取得に関しては最大限の配慮をしますので、体調に異常がある場合は無理に参加せず、少しでも不安がある場合は実習担当教員に相談してください。また、滞在中に体調が悪くなった場合は、すぐに教職員に伝えてください。教員と病院の緊急連絡先は実習当日に配布します。

重症化の恐れがある持病等がある人は、必ず事前に実習担当教員に伝えてください。

参考 URL : 新潟大学・学生向け重要なお知らせ【新型コロナウイルス感染症対策関係】

<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/life/covid-19/>

【佐渡への来島前2週間～】

行動に関する注意事項

○実習前2週間以内は、新型コロナウイルスへの感染につながる恐れがある行動(感染拡大地域における滞在、大人数での会食、密な空間での会合、接客を伴うアルバイトなど)は自粛する。

○就職活動等でやむを得ず感染拡大地域を訪問した場合、または訪問予定がある場合は、**必ず実習担当教員に移動先の都道府県や移動経路(新幹線・飛行機・高速バスなど)の情報を申告する。**

※感染拡大地域に関しては、大学や佐渡市、各自治体のホームページなどを参照し、最新の情報を確認してください。

※緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が適用された都道府県に滞在をしていた等、感染の可能性が疑われる場合は、実習への参加を認めないことがあります。ただし、新型コロナウイルスワクチンの2回接種かつ佐渡への移動前72時間以内にPCR検査・抗原検査を実施することなどを条件に実習への参加を認める場合があります。

※実習は密な共同生活となるため、来島前の行動履歴は安全管理のために重要な情報です。体調に異常がある場合には、保健所等に情報提供する場合があります。

健康チェック表の記入

○実習開始日の2週間前から健康チェックを行い、毎日朝夕2回の検温結果と発熱や風邪の症状等

体調不良がないかを「健康チェック表」に記録する。

※健康チェック表は、新潟大学保健管理センターHP（下記 URL）からダウンロードしてください。参考 URL：新潟大学保健管理センターHP <https://www.hac.niigata-u.ac.jp>

※健康チェック表は各自で保管してもらいますが、体調に異常がある場合には保健所等に参考資料として提出する場合があります。

※平熱より高い場合や風邪症状がある場合は、必ず佐渡への移動前に実習担当教員に申告してください。

事前申告書の提出

○「事前申告書」（別紙 1）を記入し、実習開始日の 3 日前に実習担当教員に提出する。提出先のアドレスは学務情報システムを通じて確認すること。

【大学（または自宅）～新潟港・佐渡汽船ターミナルの移動】

○バスや電車を使用する場合、通勤時間などの混雑する時間帯（7:30-9:00、17:00-19:00）や車両をできるだけ避ける。

※公共交通機関の利用時は、感染リスクが高くなるので特に注意すること！！

【佐渡汽船 船内での過ごし方】

○フェリー利用とする。周囲の乗客と十分な距離（できるだけ 2 m、最低 1 m）を取り、可能な限りデッキやイベントプラザなどの広い空間で過ごす。

○船内でも、常にマスクを着用する。

【佐渡島内での移動】

○公用車を利用する。

○移動時はマスクを着用して座席間隔を開けて着席し、会話は必要最小限にとどめる。

【朱鷺・自然再生学研究施設内での活動】

本施設はトキ交流会館の中にあります。トキ交流会館はトキの野生復帰のための活動拠点として、大学以外の事務所や会議室があり地域の方も使用しています。また、宿泊施設としても利用されています。共有スペースでは特に、3密を避け会話は必要最小限にとどめるようにしてください。

○実習では共同で作業を行うため、それらの作業を行う部屋では身体的距離を保つなどして「3密」にならないようにし、滞在時間をできるだけ短くする。また、1 時間毎に換気を行う。

○施設内で共同で使用する部屋（セミナー室、共同利用室等）を利用する際は、入退室時刻等を入り

口に設置した「入室管理表」記入する。

○不特定多数が触れる部位（ドアノブ、電気等のスイッチ、蛇口、共用 PC のキーボード、実験器具など）は、こまめに消毒し、使用後に拭き取る（消毒液は、施設内に設置します）。

【佐渡滞在中の注意点】

○体温計を持参し、毎日朝夕に検温を行い、発熱や風邪症状等の体調不良がないか「健康チェック表」に記録する。

○各自で携帯できる消毒液やアルコールウェットティッシュ、ごみを入れるための大きいチャック付き袋は実習に必要な数を持参し、使用すること。

○マスクは毎日交換する。

○野外活動中は熱中症予防のため、状況に応じてマスクを外してもよい。その場合は、2m 以上の身体的距離を保つよう注意する。

○朝晩の食事は自室で、一人で食べる。昼食は状況に応じて、自室で食べるか、野外で食べることになるが、後者の場合は他の人との身体的距離を確保し黙食する。

○受講生同士での近距離での会話は必要最小限にして、集まったの懇談は避ける。

○禁酒とする。

【滞在中に感染症の疑いのある症状を示す学生が出た場合の対応】

○厚生労働省 HP を参考に速やかに隔離する。

参考 URL：厚生労働省 HP https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html

【実習終了後】

○実習終了後、2 週間以内に新型コロナウイルスの感染が発覚した場合は、速やかに実習担当教員へ連絡する。